



三条北ロータリークラブ週報



No. 19

R I : ホルガー・クナーク会長 「ロータリーは機会の扉を開く」
 第 2560 地区 : 佐藤真ガバナー 「ロータリーで良いことをしよう」
 三条北 RC : 石黒隆夫会長 「親睦を深めよう」

会長 : 石黒隆夫 幹事 : 本田芳久 S A A : 中原尚彦

●例会日 : 火曜日 12 : 30 ~ 13 : 30 ●例会場 : 三条ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

- ◆本日の行事 : 「職場紹介」
- ◆本日の出席 : 59名中33名
- ◆先々回の出席率 : 59名中46名 77.97%
(前年同期 74.58%)
- ◆先週のメイクアップ(敬称略) :
 11/18 三条RC 田中耕太郎
 11/18 P E T S 運営委員会(Zoom)
 石川一昭

* 本日の配布書類等

- ・ガバナー月信 11月号(閲覧)
- ・週報 No.1606

会長挨拶 : 石黒隆夫会長



皆さんこんにちは。先週の例会終了後に羽賀プログラム委員長と一緒に三条市役所へ行ってきました。要件は、新市長への卓話依頼です。直接会う事は出来ないと思えば、アポ無しで秘書課に依頼書を届けに行きましたが、突然数人の人達が市長室から出てこられ、よく見るとその一人が三条ライオンズの大野さんでしたのでライオンズの方々とわかりました。その後を追って見送りのため市長が現れたので声をかけ名刺交換させていただき卓話の依頼を直接させていただき事が出来ました。とてもラッキーでした。羽賀委員長は何か持っていますね。

今日の職場紹介は岡田大介さんです。私が入会したときの親睦委員長で見学初日がハロウィンの夜例会で黒のゴミ袋を着させられました。入会当時は岡田さんと石川一昭さんと佐藤義英さんの3人が北ロータリーの雰囲気を作っていたように思います。ですので来年度はコロナも落ち着けばとても明るく楽しい石川年度となるでしょう。今日の卓話は涙あり笑いありの内容だと思いますので是非ハンカチを用意してください。

今週の週報北ロータリアンの知らない世界は本田幹事です。ペットにねずみを飼っているってビックリですし大量繁殖って今何匹いるのですか？言えないくらいいるんですね。

幹事報告 : 本田芳久幹事



- ・高尾ガバナーエレクトより、「ガバナー補佐スタッフの選任のお願い」
- ・地区事務所より、「2020年決議審議会 決定報告書」
投票結果その他につきましては、My ROTARY よりご確認いただけます。
- ・ロータリーの友事務所より、
感染症対応のため、
友事務所は時差出勤と
在宅勤務併用のご連絡。



ロータリー財団 BOX

24日現在累計 124,000円

星野 義男 君 佐藤財団委員長に協力します。

米山奨学 BOX

24日現在累計 139,000円

花井 知之 君 前回の武田さんの職場紹介を欠席したお詫び(^^)
 淵岡 茂 君 武田委員長に協力。
 中原 尚彦 君 委員長に協力します(汗)
 米山 忠俊 君 米山BOXに協力。
 武田 恒夫 君 岡田大介さんの卓話、寝ずにしっかり聞きます。

スマイル BOX

24日現在累計 488,000円

石黒 隆夫 君 岡田さんの卓話ありがとうございます。毎年やって下さい。
 本田 芳久 君 岡田大介さんの卓話楽しみです。BOXに協力です。
 中原 尚彦 君 岡田大介さん、本日の職場紹介楽しみにしております♡
 羽賀 一真 君 岡田大介さん、卓話をお引受けいただきありがとうございます。
 今井 克義 君 優しさと勇気と思いやり、それぞれ100%身につけている岡田大介さんの卓話
 (決して誇張ではありません) 楽しみです。
 花井 知之 君 久しぶりに来ましたので協力いたします。岡田さんの卓話楽しみにしています。
 武田 恒夫 君 岡田大介 大社長様、大発展する極意を伝授して下さい。
 森 宏 君 3連休、遠出はせず静かにしていました。
 佐藤 秀一 君 岡田さん、卓話楽しみにしております。
 佐藤 義英 君 岡田さん、卓話楽しみです。
 梨本文也 君 岡田大介さん、職場紹介がんばって下さい。楽しみにしています!!
 石川 友意 君 岡田さんの卓話に感謝して!!
 渋谷 義徳 君 岡田会員の卓話を楽しみさせてもらいます。
 外山 裕一 君 BOXに協力。
 早川 瀧雄 君 岡田会員の卓話楽しみです。
 田中耕太郎君 BOXに。
 岡田 大介 君 BOXに協力。本日卓話、頑張ります!!
 石川 一昭 君 鳥こう会、2番バッター岡田大介さん、卓話感謝して!!



本日の行事：「職場紹介」

三陸運送株式会社 代表取締役 岡田大介 会員

優しさ 勇気 思いやり



社名	三陸運送株式会社
所在地	新潟県三条市新堀 1025
代表者	代表取締役社長 岡田 大介
創業	1951年
設立	1959年5月22日
資本金	1000万円
従業員数	94名
車両保有台数	86台
電話番号	0256-45-7210

沿革

昭和 34(1959)年 3 月 4 日
昭和 34(1959)年 5 月 22 日
昭和 34(1959)年 6 月 1 日
昭和 37(1962)年 6 月 23 日
昭和 41(1966)年 10 月 12 日
昭和 49(1974)年 4 月 1 日
昭和 61(1986)年 12 月 22 日
平成 2(1990)年 6 月 21 日

平成 6(1994)年 12 月 4 日
平成 10(1998)年 10 月 1 日
平成 25(2013)年 4 月 1 日
平成 25(2013)年 7 月 1 日

一般小型貨物自動車運送事業認可
三条陸上小型運送株式会社設立
自動車運送事業の運輸開始
三陸運送株式会社に社名変更
一般区域貨物自動車運送事業認可
新潟県三条自動車事業協同組合 法人設立
産業廃棄物収集運搬業認可
一般貨物自動車運送事業認可 自動車運送取扱業認可
自動車運送代弁業認可 自動車運送利用業認可
栄給油所 完成検査済 供用開始
見附営業所開設
本社営業所 三条市新堀へ移転
見附営業所 本社営業所に統合



事業概要

一般貨物自動車運送事業

貸し切り便でお客様のニーズに合わせた輸送が可能です。

ウィング車を多く所有しています。

小さな雑貨から大型の品目まで多彩な運搬品目に対応しています。

廃棄物事業

- ・一般廃棄物処理（し尿を除く）
- ・産業廃棄物収集運搬

廃プラスチック類、紙くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、汚泥、木くず、繊維くず、燃え殻、動植物性残さ（石綿含有産業廃棄物を除く）、ゴムくず、金属くず、収集・運搬

今までの物流の歴史

①江戸時代～戦前

日本では遥か昔から陸路や水路を開拓し、農作物などを運んで商売を行うという物流や流通の元となる作業は存在しましたが、システムとして確立された物流は陸上運送に限って歴史を辿ると、江戸時代から続く『伝馬と助郷』の制度、簡単にいうと人と馬による配送システムでした。

今から150年前の明治政府は資本主義国家『日本』を作るべく模索していました。

その時、明治政府の郵便と競合していた『定飛脚問屋』に政府は目をつけます。

日本近代郵便制度の創始者の一人、『前島密』（現在の一元切手の人物）はこの『定飛脚問屋』と談判し、『定飛脚問屋』は永年続けてきた信書の運送を止めます。

ここで日本から飛脚がいなくなりました。そして

『陸運元会社』（現在の日本通運）として再組織され、日本政府の郵便事業の運送業務を請け負う事になったのです。

飛脚の時代に出来たネットワークを元に全国での輸送網の基盤をここで作り上げました。

②1950年代

1950年代の日本は戦後の爪痕が多く残っており、まだまだ道路の整備が追いついておらず、国内の主要な道は殆どが未舗装で小石などが散乱し、自動車でも人力の荷車でも商品を運ぶ際の破損が一番の問題でした。

そのため当時の運搬で最も費用がかかったのは燃料費でも人件費でもなく梱包費であり、悪路でも商品が破損してしまわないように厳重に梱包をすることが最も重要であったと言われていました。これでは商品が多くの人に行き渡り経済が成長し景気が良くなっていかないと考えた当時の日本政府

は先進国であるアメリカに物流の視察団を送り商材の運搬を勉強させることにしました。当時商品の生産に重きを置いていて運搬にはあまり目を向けていなかった日本にとっては画期的な研修となり、下記のようなことを学びました。

1. 「生産も物流も同等として考え、設備や技術への投資を行うこと」
2. 「物流技術を専門とした企業の基盤を作ること」
3. 「物流技術を発展させるために梱包から運搬に関する技術を公共化させること」
4. 「物流技術を安定させるための拠点を設けること」
5. 「物流効率を向上させるために交通網の整備を強化すること」

アメリカではこれら物流業務のことを「Physical Distribution」と呼んでおり、この言葉を日本に持ち帰り「物的流通」という『物流』の語源になる言葉に訳したのです。

田中角栄氏の『日本列島改造論』は、この物流という考え方をアメリカに学び始めた少し後の時期の事です。

1960年代以降

高度経済成長により商品の大量生産化、大量消費が進むと同時に東京オリンピックの開催も決まり日本の陸路や水路、空路などの整備が急ピッチで進められました。交通網が整備されると同時に大量生産されるようになった商品を運搬する物流拠点も多く建設され、陸路の物流が発達していったのです。一億総中流時代を意識する国民の消費社会になったこと、それに加えてこれまでは上流階級でしか持たれる事の無かった商品もローンという支払い方法によって購入が可能となりました。高度経済成長期に消費者の様々な要望に応えるべく流通業、製造業は変貌を遂げたのです。そして物流業はそれを追いかけて1960年代は物流が効率化され飛躍的に伸びた時代でした。

2000年以降の現在

バブル経済が崩壊し、それ以前の大量生産、大量消費で商品を作れば作るほど売っていた時代とは異なり、消費者が商品を厳選する多品種少量生産へと時代が変わったため、物流業もより細かい拠点

への配送に力を入れるようになりました。チェーン小売業への各配送や、一般家庭に迅速に荷物を配達するための物流網などに対応できるよう、一度に大量の荷物を輸送するだけでなく、小規模の物流に重点を置くようになりました。

これまでは荷物を多く運ぶため倉庫や道路などのインフラ整備に力を入れていましたが、コンビニやネット通販などの拡大により配達先が細分化されるようになったことで、細かい少量の商品を複数の配達先に効率よく届けるためのシステムが注目されるようになったのです。

商材を届ける物流という業務だけではなく、倉庫内での在庫管理から対象商品のピッキング、梱包から出荷など配送業を一括管理するロジスティクスという業務が一般的になりました。

そしてそのロジスティクス業務専門の業者が多く生まれ、元々ロジスティクス機能を持っていなかった運送会社や通販会社などに委託され、物流を管理・運営する「サードパーティー・ロジスティクス」専門の企業なども誕生し、2000年代は通販業、コンビニなどの発展により物流業が大きく変わった時代でもあるのです。

現在の物流

通販業が成長を続ける現代では、商品の保管や効率よく配送できる3PLが重要視されていき

多品種少量生産時代

高度成長期の日本は商品を作れば売れる大量消費時代とも言われており製造すること、一度に大量の商品を運搬することに重きをおいていました。

しかし現在は情報が溢れ、消費者たちは商材を厳選するようになったため、本当に価値のあるものだけが選ばれる多品種少量生産の時代になりました。交通インフラはすでに高度成長期やバブル期でかなり整備されてきたため、2000年代はより細分化された発送先への配達をするためシステムの開発、整備が重要な時代になったのです。

3PLの活用

2000年代以降ネットやカタログなどの通販業が大きく伸び、またコンビニやチェーン店などの台頭により宅配や各店舗への配達など小口配送の割合が高くなりました。

それに伴い商材を適切に保管し、効率よく消費者や得意先へ配送する物流専門である「サードパーティーロジスティクス」、通称「3PL」と呼ばれる企業が重宝 ようになりました。

ネット通販が一般化したことにより、海外に拠点を持つ通販会社なども国内にある 3PL に委託して入荷から商品管理、顧客への発送を簡単に行えるようになり、3PL の誕生は通販業の飛躍に大いに役立ったのです。

未来の物流

現在の物流業において最も問題視されていることが「人員不足」です。

物流業界は何十年も前から 3K（きつい、汚い、危険）、最近では新 3K（きつい、給料が安い、帰れない）とも言われ配達するトラックドライバーや倉庫内での作業スタッフなどの人員が通販業の発展に追いつかず、慢性的な人員不足に陥っているのです。

将来人員不足がさらに悪化しないために、未来に向けて物流業界では様々な業務のオートメーション化、AI 化を研究しています。

倉庫業務のオートメーション化、AI 化

物流業務は運搬用のトラックドライバーの他に商品を納品、または検品させるスタッフ、保管や管理するスタッフ、顧客や企業に出荷するスタッフなど倉庫内にも多くの人員を必要とします。

通販業が急激に伸びたため常に人員が足りない状態である物流企業では業務のオートメーション化、AI 化を研究しています。

かつては全て手作業で行っていた入出荷も、現在はシステム上で保管場所やピッキング場所を指示したり、ベルトコンベアでの商品梱包や出荷ラベ

ル貼りなど、可能な限りオート化を進め人員不足の対策を行っています。

また、大手倉庫では商品のピッキング自体を全てオートメーション化することに成功しており、将来は倉庫業務のほとんどがオートメーション化と言われています。

自動運転による配送

物流業を支えるトラックドライバーの人員不足、高齢化なども深刻な問題となっており、大手物流企業などはシステムや自動車業と協力し、自動運転技術の研究を行っています。

先日ホンダが世界初の自動運転レベル 3 の車を発表しニュースになりました。間違いなく日々進化しています。

トラックは将来的に自動運転、隊列走行を目指していますが、高速道路でこれを可能にさせるにはかなりのインフラ再整備が必要になります。閣議決定された交通政策白書に「2025年目処」と明記され、高速道路での完全自動運転実現に向けて新東名高速での6車線拡幅工事は始まっています。これを完全実用化するには、今後各地のパーキングエリアも拡張工事や再整備、各インターチェンジには中継地の設置も必要になりますし、それに伴う用地確保、交通ルールの見直し、また法の整備等、多くの解決しなければいけない問題があります。

さらにドローンで山間部などのトラックが行きにくい場所に配達するシステムなども Amazon がドローンの企業と共同研究を行っており、物流企業が公共交通機関と協力し合い、バスなどを使って共配システムを開発するなど、人員不足への取り組みが始まっています。

December celebration ・ 12 月のお祝い（敬称略）

会員誕生日 田口実仁佳、佐藤 秀一、渡辺 徹

ご夫人誕生日 今井 房子、山崎八重子、渋谷 朋子、米山由貴江

結婚記念日 佐藤 義英・ミチ子、加藤 實・満寿子、斎藤 正・裕子



「北ロータリアンの知らない世界」



No. 17

お名前と年齢、家族構成（ペット含む）について教えてください。

花井知之 58歳（来年2月59歳）



家族構成は個人情報に付き差し控えさせていただきます。



趣味はお持ちですか？どのくらいはまっているのでしょうか？



「ゴルフはしますが、下手なので、いやいや付き合いでやっています。」と、言っています。



休日が好きで無いので、仕事が趣味なのかもしれません？

新しい生活様式にどう対応されていますか？



知り合いの方とすれ違っても、マスクをされていると誰だかわかりませんが、私の事はマスクをしていても全員の方が100%私だとわかります。



なんででしょう??



あと、マスクをしている女性は美しい方が多くなり、それだけが楽しみかも！

ロータリーに入ったきっかけと一番の思い出は？



第四銀行の新年会で、丸山勝さんに「このテーブルに座れ」と言われ、座った席は北ロータリーメンバーのテーブルでした。



その後、ほめ殺しと凄い**圧力**で、**あたたかい**勧誘を受けたのが……

最後に北ロータリーメンバーへ向けたメッセージをどうぞ



生まれ変わったら、又北ロータリーに入るか、絶対ロータリーに入らないか、どっちかだと思います。



北ロータリー以外の勧誘はすべて断ります。



それだけ北ロータリーのメンバーの方々が**大好き**です。(笑)